

地域風景資産の名称：

成城3丁目桜と紅葉の並木

住所： 世田谷区成城三丁目

位置図：



地域風景資産の特徴：

この並木には、三千坪の敷地をもった初代の建築主によって、玄関へのアプローチとしてつくられた、というエピソードがある。春には桜、秋には紅葉を楽しみたいという当時の思いは、今も多くの人々の共感を呼んでいる。



地域風景資産の背景等：

世田谷百景にもなっているこの並木は、成城学園が住宅地として開発された時に、初代の建築主が三千坪の敷地内に玄関へのアプローチとしてつくったのがはじまりと言われている。現在も四季折々の風景を楽しむ地元の人々で絶えない散歩道となっている。並木沿いの住民をはじめ、散歩で通行する人、地元小学校のPTAなどの関係者と協力し、並木の維持・管理など、並木を守り育てる活動が進んでいくことが期待される。

備考：

私道のため通り抜けはできません。